

平成24年度

第2回五城目町地域公共交通協議会 会議録

【会議の日時・場所】

日 時 平成24年8月30日(木) 午後2時00分より
場 所 五城目町役場 2階 正庁

【協議案件等】

報告 (1) 乗合タクシー馬場目線と富津内線の運行実績(4月～7月)について
協議 (1) 面潟線バス路線の代替交通(案)について
協議 (2) その他

【出欠状況】

出席委員	別紙「委員出欠表」のとおり	22名
欠席委員	別紙「委員出欠表」のとおり	8名
事務局	別紙「委員出欠表」のとおり	6名

【会議の内容・発言要旨】

午後 2時00分開会

○事務局(嶋崎まちづくり課長)

只今より平成24年度 第2回五城目町地域公共交通協議会を開会いたします。
開会に先立ち、武田会長よりあいさつをお願いいたします。

○武田会長

本日は、暑い中、忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。真夏日が続くなか、異常な猛暑で水不足等心配もあるところです。

第1回、5月31日に続いた協議会でございます。前回は内川線バス路線の代替交通についてご承認いただきました。今回は面潟線バス路線の代替交通についての協議をよろしくをお願いいたします。

では議事に入らせていただきます。議事に入る前に会議録署名員を選任いたします。どのように取り計らったらよろしいでしょうか。

○委員全員

(会長一任)

○武田会長

会長一任の発言がありましたので、私の方から指名させていただいてよろしいでしょうか。

○委員全員

(異議なし)

○武田会長

異議なしの声がありましたので、私の方から指名させていただきます。

本日の会議録署名員に、五城目町社会福祉協議会 朝野事務局長と、五城目商店会顧問 長谷川様の2名を指名いたします。

それでは、次第に従いまして進めていきたいと思えます。まず、報告事項ですが、事務局より報告事項(1) 乗合タクシー馬場目線と富津内線の運行実績(4~7月)についてお願いいたします。

○事務局(大石)

本日配布の会議の資料確認後、報告(1) 乗合タクシー馬場目線と富津内線の運行実績(4~7月)について説明。(資料・スライドにより説明)

○武田会長

ありがとうございました。何か質問はありませんか。

報告事項(1)を終了。次に協議事項(1)について

○原田委員(五城目タクシー 佐々木委員代理)

野田地区のことで聞きたいのですが、野田地区の乗合タクシーは入れないでもらいたいのですが。

○武田会長

これに伴い、森山地区町内会長さんいかがですか。

○伊藤委員(森山地区町内会長会)

いろいろ考えがあると思いますが、これから5年、10年後となると、間違いなく利用するので、ぜひとも野田地区もよろしくお願ひしたい。

○武田会長

いろいろな立場からご意見を伺いたいと思えます。

○大西委員(イオンパーセンタ-五城目店)

五城目町の人口が減っていく中で馬場目線・富津内線も赤字が出ているようですが、面

瀉線も入ると赤字の幅はどれくらいになるのか。

○事務局（大石）

面瀉地区は、馬場目・富津内の地区と違って、大幅に利用者が少ないと見込んでおります。運行形態上予約がない便は、運休になるのですがそれでも1年をとおして電話オペレーターなどの事務所費がかかるので赤字となると予想しています。事務局の大体の試算では、160万円位かと考えています。利用者が増えても、便数が増えているので、それだけでは赤字が減少するとは限りません。運行便数が増えずに1台当たりの利用者数が増えれば赤字は減ると思えますが。

○大西委員（イオンスーパーセンター五城目店）

仮に今回、代替交通はいらなく、タクシーを利用したら、300円の補助をする等はいかなるものでしょうか。

○事務局（大石）

普通タクシーに補助金を出すということも検討しましたが、そうすると、タクシーの地域格差が生まれてしまいます。他の地域のことも考えると、普通タクシーの利用に補助金を出すというやり方は、難しいと考えました。あくまで、新しい代替交通は、普通タクシーとのすみわけをしながら利用者の事情に合わせて、利用者の判断で区別して利用してもらいたいと思っています。

○大西委員（イオンスーパーセンター五城目店）

公共交通ということなのでそう思います。ありがとうございました。

○原田委員（五城目タクシー 佐々木委員代理）

委託の積算の話になるのですが、予約のない便も見てもらいたいのですが。

○事務局（大石）

細かいお話しで、詳しくは個別に説明いたしますが、簡単にいうと、運休した際の運転手の待機分は、次年度の委託料に嵩上げして入れ込んでいます。

○武田会長

商店会 長谷川さんいかがですか。

○長谷川委員（五城目商店会顧問）

利用者の利便性についてのアンケート、利便性だけでなく、発展計画、朝市を考えまちづくりを考えていくべきでないか。面瀉線について、どのような路線になるか。

○事務局（大石）

馬場目線・富津内線の拠点施設での乗り降りする形となります。

○長谷川委員（五城目商店会顧問）

面潟線については。

○事務局（大石）

実際は、スライドの地図上でオレンジ色に塗られている部分を移動することになります。基本はイオンを出発して、浦横町で折り返してイオンに戻る。予約に応じた運行となります。

○伊藤委員（森山地区町内会長会）

名称ですけれども、乗合になった場合どうなるのでしょうか。

○事務局（大石）

乗合タクシー馬場目線で始めたときは、実証運行時デマンド型乗合タクシーで、本格運行のときに、乗合タクシー馬場目線としました。今回の面潟線バス路線の代替交通の場合は最初から乗合タクシー面潟線という名称を考えています。

○伊藤委員（森山地区町内会長会）

現在、面潟としての名称は使っていないので、あとで検討してみてください。

○武田会長

あとで協議したいと思います。

○伊藤委員（町身体障害者協会）

交通弱者に限られているようですが、利用者においても人数が限られています。

8月10日に協議しているようですが、このあと、実験運行を見ながら行政も頑張ってもらいたい。

○武田会長

老人クラブ 伊藤さんいかがですか。

○伊藤委員（老人クラブ連合会）

利用者の不足が感じられます。内容を精査しながら、無理な決め方は避けたほうがいいと思います。

○朝野委員（社会福祉協議会）

面潟線は実質ジャスコまで延びることになりますし、野田町内もエリアに入りますので、

ワゴン車で効率的な運行をしたほうがよいのでは。

○事務局（大石）

野田を入れることで利用者が増えるので小型タクシーではなく、ワゴン車でよいのではないかということかと思いますが、今までの経験などから他の路線でも利用者は増えていない状況です。今の高齢者は車を運転していますし、生涯現役で乗っています。利便性もありますが、今回の路線は、本町から5キロ以内なので、普通タクシー業務の合間に、小型タクシーを活用することをイメージで小型車両を選択しました。その辺は、実証運行をして、判断していきたいと思います。

○朝野委員（社会福祉協議会）

五城館で、待っている人を見かけますが、運行時間の問題もあるのではないのでしょうか。

○事務局（大石）

各町内で意見を聴き参考にさせていただいていますが、運行時間については十人十色です。

○原田委員（五城目タクシー 佐々木委員代理）

運行車両について、小型2台出すのですか。

○事務局（大石）

予約状況を見ながらそのように考えています。

○原田委員（五城目タクシー 佐々木委員代理）

森山地区の道路幅など、かなり厳しいところもあります。この手の路線の調査はしていますか。

○事務局（大石）

特別調査はしていません。実証運行をしながら洗い出したいと思います。

○武田会長

ここで、休憩に入りたいと思います。3時25分まで休憩します。

3時10分休憩

3時25分再開

○武田会長

再開いたします。いろいろな意見を賜りましたが、ほかに。

○原田委員（五城目タクシー 佐々木委員代理）

乗合タクシーの運行をするについて、町のほうに、お願いが2つ程あります。ひとつは、道路工事状況についての連絡を入れてもらいたいことと、もう一つは除雪をしっかりともらいたいことです。よろしくをお願いします。

○事務局（大石）

道路工事については、できる限り建設課と連絡を取りながら情報提供したいと思います。除雪については、建設課に話しておきます。

○武田会長

面瀉線バス路線の代替交通の案についてですが、利用者の問題等もあります。タクシーの利益も絡みます。野田地区の利便性もありますが、アンケート調査によりますと、必要のない人もいますが、94.9%の野田の回答を見ますと、何を望んでいるかという、戸口方式を望んでいます。大部分の方が望んでいるのだと思います。代替交通の名称については協議の案件として、町民が何を望んでいて、何をしなければいけないか、今後、協議をしてみたいと思います。

岡本、浦横については、特に問題もないように思います。町民の公平性を考え、運行业者の皆様の総合的な考え方で進めざるえないかと思えます。実証運行してみて、そこにあった利便性を考え、工夫して、やっていかなければいけないと思います。

高橋交通政策課長いかがですか。

○高橋委員（交通政策課）

今回の件につきましては、実証を行うということですが、馬場目線・富津内線での実証運行の経験もあると思いますので、ぜひよろしくお願いします。

住民のニーズから見ますと、アンケートでは交通弱者・空白地帯についての心配等あるかと思えます。資料1の9. 運行形態 12. 利用料金の①と②について説明ください。

○事務局（大石）

大変申し訳ありません。かなり説明を省略してしまったので、理解しにくい部分があったと思います。今指摘のあった、①は森山地区と五城目地区をまたいでの移動で、例えば、森山地区に住んでいる人が、森山地区の自宅で乗って五城目地区の拠点施設でおける。帰りは、その逆でということイメージしています。②は、森山地区内で、自宅で乗って、森山地区の他の町内の拠点施設でおける。帰りはその逆ということを想定したものです。

○高橋委員（交通政策課）

各市町村でも、さまざまな意見もあり実績もありますので、協議を重ね進めてください。

○武田会長

運輸局 伊藤さんいかがですか。

○伊藤委員（運輸局佐々木代理）

それぞれの話の中で、代替交通のいろんな問題が集約されている事が伺えます。今後の申請のタイムスケジュールについて、どのようになっていますでしょうか。

○事務局（大石）

来年4月の実証運行に向けて12月までに運行を委託する業者を決め、事業者より、運行に関する手続きを進めてもらう予定です。今まで同様に、タクシー業者さんから、12月までには決定して、12月中には申請していきたいと思います。

○武田会長

よろしいでしょうか。他にありませんか。

○ 委員全員
（質疑なし）

○ 武田会長

それでは、協議（1）面潟線バス路線の代替交通（案）については、承認としてよろしいでしょうか。

○ 委員全員
（異議なし）

○武田会長

では、協議（1）については承認したものといたします。
その他について事務局からお願いします。

○事務局（大石）

その他の協議としてはとくにありません。今後の予定ですが、12月までには委託事業者を決め法律上必要な手続きを進めたいと思っています。それに向けて、今後事務局で細かいところを詰めていきたいと思っています。次回協議会につきましては、今年中には開会したいと思います。


○武田会長

それでは、以上をもちまして、第2回五城目町地域公共交通協議会を終了いたします。
ご苦勞様でした。

午後3時45分閉会

会議録署名員

(長谷川 定 夫)

長谷川 定夫 

会議録署名員

(朝 野 暢 稔)

朝野 暢稔 